

Bangladeshの人々を支える会

当時、Bangladeshから留学していた大学院生のアオラド・ホセイン氏の知遇を得て、1998年にサイクロンの被災者を支援したことがきっかけとなり、当会は1999年6月に農村部の女性を支援する目的で設立されました。その後、女性への職場を提供するため「富士・シャプラ牧場」の開設を経て、2005年6月に女性に子牛を供与する事業を開始し、2014年3月には102名の女性に105頭を供与してこの企画を終了しました。

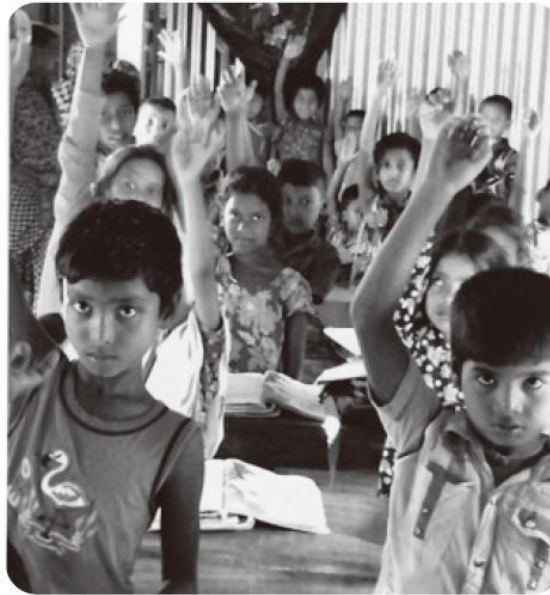
また、2011年4月には子どもたちの初等教育のための学校を開設しました。支援地域はパドマ(ガンジス)河の支流に囲まれた三角地帯で、貧困の連鎖を断ち、少しでもよい条件の職を得ていくためにベンガル語、算数、英語を教えています。学校は、地域代表や先生、親からなる22名の学校運営委員会の会議によって運営され、地域の

意向に沿った活動をめざしています。現在登録されている児童数は保育30名を含め110名で、先生は3名です。今では、就学率は上がってきましたが、5年の卒業までに脱落する児童も多く、一定以上の出席日数があれば少額の手当を支給して、就学率を上げ

る工夫をしています。校舎は手狭になったため、盛土した上に別棟を建てる必要がありますが、建築資材は値上がりが続けており、広島財団から助成金を頂いたものの、建築費はまだ不足している状況です。

この国では学習状況の確認を目的とする公的な試験が実施されており、当校は試験実施のための要件を満たしていないとして、まだ試験は受けることはできませんが、近いうちにこれをクリアする手筈を進めています。

(広報: 宇留賀七郎)



教室での一コマ

Bangladeshの人々を
支える会

〒488-0043 尾張旭市北本地ヶ原町 2-103 TEL/FAX : 0561-54-5869

Mail : vabw5869@wh.commuja.jp http://www.geocities.jp/vabw_for_bangladesh.